

博多の魅力
発信会議認定

文化伝承のまち。

まちが学び舎。

博多本

寺町文化を学ぶ。

博多っ子、人情。



Beautiful city HAKATA Japan

博多の寺社町へと導くウェルカムゲート

はかたせんねんのもん

博多千年門



【表の扁額】
太宰府天満宮宮司
西高辻信良氏による揮毫



【見返りの扁額】
径山萬壽寺住職
戒興氏による揮毫



千年門をくぐると、情緒豊かな歩道へと続く



欄間に彫り込まれた博多織の献上柄



所在地は MAP(P25) 参照

博多。どころ。博多祇園山笠。はじまり

博多祇園山笠

これがなくては
はじまらない。



【櫛田神社 くしだじんじゃ】
757年創建の博多の氏神・総鎮守。博多祇園山笠の他、10月の博多おくんちなどの祭事も。境内には「櫛田の銀杏」が葉を繁らせ、その根元には2点の蒙古礎石がある。

「櫛田神社」は、博多の総鎮守として「お櫛田さん」の愛称で広く市民から親しまれている神社です。博多のまちのシンボルであり、博多祇園山笠の舞台でもあります。毎年7月1日から15日にかけて開催されるこの祭りは770年以上の伝統を誇り、「山笠があるけん、博多たい！」と大切にされ、地元・博多にとってはなくてはならない存在。とくに博多の夏はこの祭りからはじまる、といっても過言ではありません。



博多の

コレがないと締まらない！

博多祝い唄

祝いの席や祭り事、物事の節目にかかせない博多の祝い唄。

祝いめでたの若松さまよ

若松さまよ

枝も栄ゆりや葉も茂る

※エイショウエイ エイショウエイ ショウエイ

ショウエイ ショングネ アレワイサソ

エサソエ ショングネ… (つづく)

日本のはじめて。

日本最初の禅寺



【聖福寺 しょうふくじ】
1195年、栄西禪師が開山。山門には後鳥羽上皇の勅額がある。江戸末期の儒屋和尚は殊に禅画で有名。臨済宗妙心寺派。
※平成24年9月、仏殿に金色の丈六三世仏が安座。



【承天寺 じょうてんじ】
開山・聖一国師が施餓鬼棚に乗り、棒で担がせて祈禱水をまいて廻り、病魔を退散させたことが山笠のはじまり。境内には「うどん・そば発祥の地碑」に並び、饅頭、博多織発祥を示す碑も並ぶ。臨済宗東福寺派。
※開門は8時～17時

うどんも饅頭も
みんなここから

博多は古代から中国大陆や朝鮮との交流を保ちながら、時代時代で多くの先端文化を取り入れ、日本文化の発展に寄与してきました。その中心的な役割を担ったのが、今も博多に残る寺社の数々です。とくに弘法大師最初の建立寺「東長寺」や、日本最初の禅寺「聖福寺」、さらにうどん・そば・博多織など、博多文化発祥の地「承天寺」と、長い歴史はもちろん、その縁起の意義深さが重要視されています。あふれるほどの「日本のはじめて」物語は、古都・京都にも負けない博多の歴史の古さを伝えているのです。



ういろう伝来の地
【妙楽寺 みょうらくじ】
「外郎」はもともと菓子ではなく万能薬。それを当寺に伝えた「陳外郎宗奇」の名から、菓子名として伝わったという。



日本初の住吉宮
【筑前國一之宮住吉神社 すみよしじんぐ】
全国約2000社の住吉神社の始源。開運除災・航海安全・船舶守護の神として崇拝されてきた神社。



【東長寺 とうちょうじ】
2011年落成の「五重塔」をはじめ、日本最大級の木造座像「福岡大仏」など見どころ多数。真言宗の別格本山。

空海、最初の寺



禅茶のお稽古処!?

【圓覚寺 えんがくじ】

千利休の茶道の心得を記した唯一の指南書「南方(なんぼう)録」を所蔵。今でもその稽古が週に3回開かれる。



芸能横丁

芸人が住んだ

【叶院(普賢堂) かのういん(ふげんどう)】

夏には素焼きの皿に揺らぐ炎が、古い建物の普賢堂に溶け込み幻想的な空間を創りだす「千灯明」が行われる。普賢堂のあるこの通りは、昔は「芸能横丁」と呼ばれるほど多くの芸能人が住んでいたといわれる。



【萬四郎神社 まんしろうじんじや】

密貿易の罪で一族郎党が処刑された、最後の博多豪商「伊藤小左衛門」。その三男の「小四郎」と四男の「萬之助」が祀られたことから、「子供の息災」「商売の神様」として信仰を集める。

子どもの息災を願って



霊夢により、開基

【善導寺 ぜんどうじ】

開山・鎮西上人が見た霊夢(=中国浄土門の開祖・善導大師の「今博多に降り立つ。迎えに来るべし」とのお告げ)により、発見された大師の仏像を祀る寺。



“仏花”咲く、花の寺

【順心寺 じゅんしんじ】

秋には彼岸花・曼珠沙華、春にはボケ・貝母(編笠百合)など、手入れの行き届いた境内に咲く草花や植木はみごと。



遊女の墓に蓮花の伝説

【萬行寺 まんぎょうじ】

遊女・明月(往生譚の主人公)の墓に、初七日に蓮花が咲いたという伝説が残る。1529年建立、浄土真宗本願寺派。



人形供養の寺

【祥勝院 しょうしょういん】

博多人形創始者から四代目の正木宗七作の「延命地藏像」がここで発掘されたため、毎年12月には人形供養が行われる。



供物は“こんにやく”!?

【海元寺 かいげんじ】

1・8月の間魔祭では間魔堂が開帳、奪衣婆の像にこんにやくをお供えすれば病氣治癒の御利益があるという。



志士が眠る

乙丑の獄に散った

【節信院 せっしんいん】

聖福寺の塔頭寺院。福岡藩の勤皇派の中心的な立場にあり、世に言う「乙丑の獄」に散った加藤司書の菩提寺。臨済宗妙心寺派。

逸話で覚える
寺めぐり。

長い歴史の中で人々により伝えられて来た寺の縁起には、さまざまな逸話が残されています。人魚伝説で有名な「龍宮寺」や、地獄の閻魔大王に由来のある「海元寺」をはじめ、昔「芸能横丁」と呼ばれていた普賢堂のある通りに建つ「叶院」など、あっと驚くような小話・エピソードに出会うことも多々。これも博多の寺社めぐりの楽しみのひとつです。

人魚の骨が!?

【龍宮寺 りゅうぐうじ】

1222年、龍宮からやってきた人魚が博多の海に流れ着いた後、この寺に埋葬されたという伝説が残る。当時から伝わるというその骨と掛軸が今も境内に。



各寺社のお問い合わせ先(五十音順)

・圓覚寺 ☎092-291-3988	・住吉神社 ☎092-291-2670
・海元寺 ☎092-291-4520	・節信院 ☎092-281-4182
・叶院 ☎092-281-6096	・善導寺 ☎092-291-0475
・櫛田神社 ☎092-291-2951	・東長寺 ☎092-291-4459
・順心寺 ☎092-291-6407	・萬行寺 ☎092-291-1556
・祥勝院 ☎092-431-3595	・妙楽寺 ☎092-281-4269
・承天寺 ☎092-431-3570	・龍宮寺 ☎092-291-1003
・聖福寺 ☎092-291-0775	



博多織

770余年の歴史を誇る、日本三大帯のひとつ。締めやすい“のが特徴で、独鈷と華皿をモチーフにした「献上博多」は博多織のシンボルです。



新

献上博多の柄を新しいファッション感覚にと、多彩な現代のアイテムに再生した商品も。



ぼっぼ膳とは子どもの「お膳すわりの祝い」が行われる際の膳。



博多曲物

杉や桧の板に熱を加えて曲げ、桜の皮で綴じて作ります。おひつや弁当箱の他、博多ならではの「ぼっぼ膳」など有名。

新



CDケースなど、新感覚のアイテムも登場。

博多張子

手漉き和紙や新聞紙、布糊を材料とし、手描きで丹念に彩色する伝統的な博多の郷土玩具。干支にちなんだ愛らしい動物など、多彩。



博多おきあげ

博多の伝統工芸「おきあげ(押絵)」は、厚紙を切り抜き、綿をのせて布で包み、貼り合わせて作ります。豊かな表情の人物などは、まるで絵画から飛び出したかのように。



新



“博多美人”の他、能や歌舞伎、毎年の干支人形まで、そのモチーフは幅広い。

博多人形

福岡の伝統工芸品の代表格。1600年、福岡築城の際に瓦職人・正木宗七が黒田長政に献上した陶製人形がはじまりとされます。明治時代、国際的な博覧会で高い評価を受け、日本を代表する人形へと発展しました。



温故知新の 伝統工芸。

博多鋏

江戸時代、博多の刀鍛冶師・安河内卯助が「唐鋏(約700年前に伝来)」の製作に取り組み、形づくったのが「博多鋏」の始まり。

博多鋏の職人は現在、高柳晴一さんただひとり。今では2年待ち覚悟の名品です。客の様々な要望に応える職人魂で、こんなペーパーナイフ(写真右)のリクエストにも応えてくれたり(非売品)。



新



博多独楽

江戸時代、木台に鉄芯を打ち込んだ心棒を持つ博多独楽が作られ、日本の曲芸独楽のルーツに。その日本唯一の家元として480年の歴史と伝統を守るのが、博多独楽師・筑紫珠楽さんです。写真は、絵筆で自由な塗りが可能な「白木独楽」。



一服

まち角の



【川端ぜんざい広場】

博多祇園山笠・八幡山笠が1年中飾られる上川端商店街の広場。週末にはぜんざいをぜひ!

☎092-281-6223



【櫛田の焼きもち】

創業70余年。櫛田神社の境内・南門にある「櫛田茶屋」で、名物・焼きもちをどうぞ。

☎092-271-7618



【喫茶「珈也」】

はかた伝統工芸館1階にあるゆったりとくつろげる喫茶。オーガニックコーヒーや和風スイーツが楽しめる。

☎092-409-5450

みやげ

博多の



【外国語おみくじ】

櫛田神社の5言語対応(日・英・中・韓・台湾)のおみくじは、外国人が喜ぶお土産物だ。

☎092-291-2951



【承天饅頭】

13世紀の博多に登場した日本初の饅頭。その縁を受け継ぎ誕生。米粉と山芋使用の皮であんを包んだ逸品。

☎092-272-2354



【山笠用品 ハンダ】

博多でも希有な、博多祇園山笠用品専門ショップ。法被や手拭い、グッズがズラリ!

☎092-263-1457

遊び場

まちの



【ベイスайдプレイス博多】

博多港を望むグルメ・海産物・温泉など充実のエンターテインメント施設。

☎092-281-7701



【福岡アンパンマンこどもミュージアムinモール】

九州唯一のアンパンマンこどもミュージアム。1日4回あるステージが人気。ここにしかないグッズやグルメもいっぱい!

☎092-291-8855



【つばめの杜ひろば】

「JR博多シティ」の屋上庭園。四季の花々や「鉄道神社」など開放感いっぱいの広場。

☎092-431-8484

足

博多の



【プレミアム・タクシー】

運賃料金は小型で、専属ドライバーによるワンランク上のサービスを目指すタクシー。

☎092-434-5100 (福岡市タクシー協会)



【博多人力屋】

博多のまちを人力車で案内! コースも多彩(20分1500円〜)。夜ツアーもあり。

☎092-263-5720



【博多「かたりべ」ロタクシー】

「博多の語り部養成講座」を受講した「語り部ドライバー」が案内する自転車タクシー。

☎090-7452-7373

博多まち歩き バイブル選。

博多のまち歩きをもっと楽しく、もっと快適に。
知っておきたい! 博多の観光に役立つバイブル集。

博多の
観光をもっと
楽しもう!



【ハカタ・リバイバル・プラン】

電柱に博多の歴史・逸話を残す「電柱歴史案内2000年本プロジェクト」など、博多の「まち学」案内所。

☎092-281-4008



【Fukuoka Walks】

英語ガイドによる外国人向けウォーキングツアー、サイクリングツアー、着物体験など。日本の方も参加OKです!

☎080-4310-4173

案内人



【「博多町家」ふるさと館】

明治の博多の暮らしと文化を紹介。伝統工芸実演の他、博多土産屋もあり。

☎092-281-7761



【はかた伝統工芸館】

博多織や博多人形を中心に博多の伝統工芸品を展示。博多織や博多人形など土産品の販売、喫茶コーナーもあり。

☎092-409-5450

博多の歴史に人あり。

名僧ここに在り

栄西禪師、空海、聖一を輸入。真言宗の開国師。古来より博多で活躍した名僧は、僧侶としても優れ、博多でや外交、文化など多方面に活躍したといえます。栄西禪師は常に宋の商人と関わりを持ち、種々の大陸文化



聖福寺所蔵の「栄西禪師像」

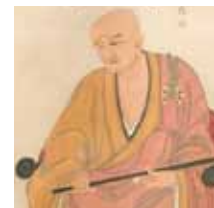
【栄西禪師 ようさいぜんし】
鎌倉時代の日本臨済宗の開祖。二度渡宋し、1195年に我が国最初の禅寺「聖福寺」を博多に建立。



【空海 くうかい】

弘法大師の諡号で知られる真言宗の開祖。嵯峨天皇・橘逸勢と共に三筆のひとり。

東長寺所蔵の「弘法大師(空海)像」



【円爾弁円(聖一国師) えんにべんえん(しょういちこくし)】

承天寺の開祖。豪商・謝国明と出会い、多大な支援を受ける。博多祇園山笠の生みの親。

承天寺所蔵の「聖一国師像」

芸人魂

川上音二郎
ゆかりの地



川上音二郎生誕記念碑

“芸どころ、博多”を象徴するかのようになり、九州最大級の演劇専用劇場「博多座」。その道向い、川端商店街入口に鎮座するのが、“博多の芸人”の筆頭株、川上音二郎像です。当時の世相を風刺

する「オッペケペー節」で一世を風靡した興行師であり、新派劇の創始者でもありました。過激な言動に走りしばしば投獄されましたが、のちにほぼヨーロッパ全土を巡業したという、博多が誇る奇才なのです。



川上音二郎像

川上音二郎

嶋井宗室
ゆかりの地



嶋井宗室の墓所「崇福寺」

博多には戦国時代から江戸時代にかけて活躍した豪商がいま。とくに三傑と呼ばれるのが、嶋井宗室、神屋宗湛、大賀宗九。宗室は日朝貿易で巨万の富を築き、宗湛とともに博多の再興と

博多豪商三傑

福岡城の築城に尽力。「17カ条の家訓」は商人の家訓として有名です。一方、大賀宗九は豊後大友氏下の武士でしたが、後に黒田長政に気に入られ黒田家御用商人として活躍しました。

大賀宗九
ゆかりの地



神屋宗湛の墓所「妙楽寺」

神屋宗湛
ゆかりの地



大賀宗九父子の墓所「幻住庵」

菅原道真
ゆかりの地



博多どんたくの源流「博多松囃子」でも稚児舞が奉納される

武将・学者の社

豊国神社



豊臣秀吉
ゆかりの地

復興の際の区画整理「太閤の町割り」や「楽市楽座」の掟など、秀吉の遺徳は大きい

「網敷天満宮」の由来は、道真公が大宰権帥は、道真公が大宰権帥に左遷されて赴任の途中、袖の湊に上陸時、貴人を迎える敷物を持っていなかった土地の住民達が、綱を丸くして敷物を作り菅公を出迎えたことにあります。残っています。

網敷天満宮

発祥地！

麺文化

聖一国師が持ち帰った宋の製粉技術により、博多はうどん・そばの発祥の地とされます。最近では小麦胚芽や食物繊維(フスマ)を含んだ、古来のうどんを再現したうどんも登場。また、麺文化発祥の地で花開いた「博多ラーメン」は、今では全国区の人気に。



作法いろいろ

「二大」鍋

博多の鍋の代表「水たき」。鶏がらをじっくり煮込んで作られた白濁の鶏ガラスープは、鍋を食べる前にいただくのがルール。また、全国的に有名になった「もつ鍋」も福岡の郷土料理です。たっぷりのキャベツとニラ、シメのちゃんぽんが一般的。



博多土産のエース

辛子明太子

スケソウダラの卵を唐辛子に漬け込み、じっくり熟成。お酒の肴に、またごはんにも合う逸品です。この名産品の生みの親は「味の明太子ふくや」創業者・川原俊夫氏。生まれ育った韓国「メソタイ」を再現したのがはじまりです。



がめ煮

博多ごりよんさん伝

鶏肉に里芋やゴボウ、レンコン、ニンジンなどを醤油で煮込んだ、博多の代表的な家庭料理です。筑前煮と呼ぶ、博多ではあり合わせのものを「何もかもがめくりこんで」煮込むことから「がめ煮」に。



「博多ごりよんさん」(商家の奥さまの敬称)が再編集した「山笠直会料理」

博多の食文化、etc。

博多のソウルフード

屋台

福岡は日本最大の屋台のまちであり、約150軒が市内に点在しています。その特徴は、ラーメン、焼き鳥、おでんなどの定番から、天ぷら・フレンチ・中華、バーまで、なんでもアリ！の多種多様なメニューにあります。



博多の台所

柳橋連合市場

「魚がおいしいまち」福岡で、料理人が通う博多の台所と呼ばれる「柳橋連合市場」。全長約100mアーケードの通路を挟み、鮮魚店などおよそ50軒の小売店が並びます。福岡の魚のエース「ふぐ」は、福岡(圖)「ふぐ、で「ふく」と呼ぶのが地元流。



博多の食文化 語り部

山笠、そして、水炊き。

柳田神社 阿部宮司

受け継がれる「直会」の味

博多の氏神様「柳田神社」。そして、博多の味・水炊き。一見、なんの共通点もなさそうですが、柳田神社に伝わる味、それが水炊きなのです。この出会いの場は「博多祇園山笠」の直会(なおりい)。直会とは、神事において神に供えたものと同様の御膳、神酒などのお下がりをちょうだいする行事のこと。柳田神社の柳田会館で開かれる博多祇園山笠振興会総会では、直会は決まって水炊きなのです。

博多の気風と食文化

神社で四つ足を食することは御法度。そこで夏の山笠の間、男衆たちの体力を支えるために「鶏肉」が選ばれました。博多は「ちゃっやくちやら」、何でも「ざっくり手早くカンタン」に「が好まれる土地柄です。水炊きが選ばれたのも、そこに理由があります。博多祇園山笠に関わる一切には、縦社会。といわれる博多の縮図が顕現しますが、直会では各流(ながれ)を代表するその縦社会のトップたちが、法被姿で七輪の上の鍋を囲み、今度は平たく横の結びつきを強めていきます。水炊きを囲んで、徳が試され、教育がなされ、そして親しくなっていく。博多の食文化とは「祭り」と切り話して語ることのできない、博多ならではの独特の文化なのです。



祭

四季を歩く、地元体験。

春

春の福岡・博多を代表する「博多どんたく港まつり」の起源である「博多松囃子」。

福神流、恵比須流、大黒流の3福神が馬に乗り、子どもたちの言立てと笠鉦が続きます。稚児流は、少女たち（舞姫）と鼓や太鼓を叩く男の子たち（囃子方）に大人たちが付き添って町中を祝って回ります。



① 福神流、恵比須流、大黒流の三福神
② 稚児流による風雅な舞

夏

博多の夏の風物詩は「博多祇園山笠」。博多の総鎮守・

櫛田神社の奉納行事で、重さ1トンにもなる昇き山笠を男衆が昇き、夜明けのまを駆け抜ける様は、迫力満点の一言に尽きます。



クライマックスの追い山笠はその年の一番山が櫛田入りして始まる

秋

秋の博多では「博多秋博」と称し、歴史的建造物をライトアップする「博多ライトアップウォーク」や博多のまちを灯明で照らす「博多灯明ウォッチング」、「中洲まつり」など、多彩なイベントが開催されます。

① 博多ライトアップウォーク
博多千年煌夜
承天寺の石庭もライトアップで幻想的に
② 博多灯明ウォッチング
博多のまち一帯が灯明の灯りで照らし出される

博多の冬を彩る恒例行事は、商売繁盛のご利益で知られる十日恵比須神社の「十日恵比須大祭」と、櫛田神社や東長寺で行われる厄除けの「節分祭」。毎年多くの人々が祈願に訪れます。



① 節分祭
櫛田神社では大きなおたふくが登場
② 十日恵比須大祭
商売繁盛の縁起物がざらりと並ぶ

学

歩いて学ぶ、知的遊覧。

文学に観る。

文学や芸術の発展に寄与した人物とのかかわりも深い博多。博多人形師・小島与一（よ）の作品を基にした銅像、与謝野鉄幹や北原白秋などの歌人・詩人、福岡市生まれの文学者・原田種夫の碑などを見ることができます。

① 三人舞妓の像
パリ万博銀賞の作品を基に、「ハカタ・ドール」の名が世界へ！
② 原田種夫文学碑
「人間」と題された詩
③ 「五足の靴」文学碑
紀行文「五足の靴」を記念



歴史に触れる。

さまざまな歴史を物語る記念碑や建造物が多いのも博多の見どころ。最初に博多駅が建設された場所近くに立つ「九州鉄道発祥の地」の碑、明治時代の灯籠、室町時代に建てられた供養碑「濡衣塚」などがあります。



① 博多町家寄進高灯籠
建造した商屋の家号がある
② 濡衣塚
濡れ衣で殺された娘を供養
③ 「九州鉄道発祥の地」の碑
明治22年の鉄道開通を記念

アートに学ぶ。

キャナルシティ博多をはじめ、個性的な建築や現代アートが多彩なのも博多の魅力。建築家・磯崎新の設計した西日本シティ銀行本店と、JR博多シティ前には近代的なオブジェがあり、ひととき目を引きまします。



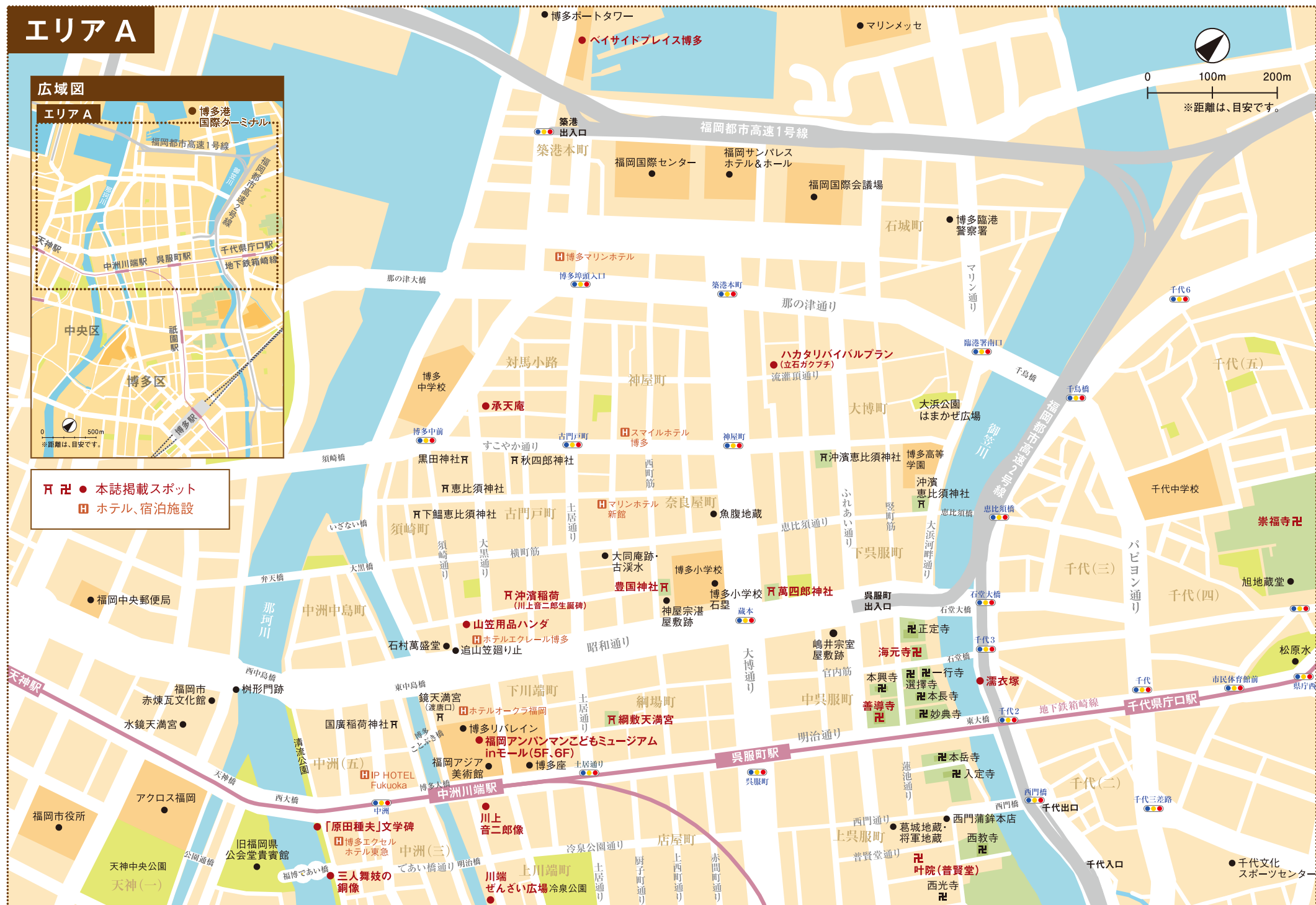
① JR博多シティ
博多駅の新しい顔
② 西日本シティ銀行本店
堂々とした存在感
③ キャナルシティ博多
斬新さが異空間を演出

エリア A



Ⓜ Ⓜ ● 本誌掲載スポット

④ ホテル、宿泊施設



エリア B

広域図

